

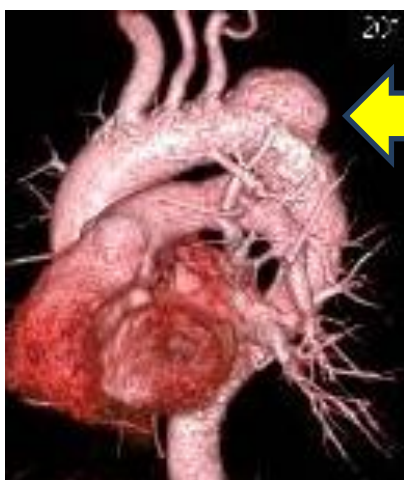
## 大動脈ステントグラフト治療のお話

### — 動脈瘤って何？ Q and A —

#### はじめに

最近でいえば俳優の藤田まことさんは腹部大動脈瘤の破裂で突然死しました。他に有名人では司馬遼太郎さんやアインシュタインさんなどが同じ病気で亡くなっています。動脈瘤は破裂するまではほとんど症状がなくある日突然破裂し死に至る非常に恐ろしい病気です。

最近では超音波エコー検査や CT/MRI 検査などで偶然発見されることが多くなっています。正常な大動脈の直径は胸部で 3 cm、腹部で 2 cm 程度です。1.5 倍以上になると動脈瘤と診断されます。



約 5.5 cm の弓部大動脈瘤  
症状は唸声（声がかかる）  
-CT 検査で発見される-

治療の基本は血圧管理です。血圧が高かったり変動が大きかったりすると破裂の危険性は高くなります。減塩食をはじめとした生活習慣を改善し、お薬による血圧管理も重要になりますのでかかりつけ医や循環器・内科医にご相談ください。ただしいったん大きくなった動脈瘤が小さくなることはなく大きくならないようにするために血圧管理が重要です。根治には外科的な治療が必要です。

手術適応は、大きさを第一に形状や年齢・合併症など総合的に判断します。手術方法は、人工血管置換術とステントグラフト術の 2 つがあります。

#### 診断基準

一般的に大動脈の太さが、胸部で 4 cm 以上、腹部で 3 cm 以上あれば大動脈瘤と診断されます。

#### 治療基準

一般的に動脈瘤が胸部で 5 cm 以上、腹部で 4 cm 以上あれば破裂の危険性があり手術適応の可能性があるため専門医（主に心臓血管外科）に相談すべきです。それ未満でも動脈瘤が大きくなるように高血圧やストレスなど過度の負担のかからないようにかかりつけ医や循環器内科医に相談すべきです。半年から 1 年の間に大動脈が 0.5cm 以上大きくなるようなら治療を考えら方がいいと言われています。

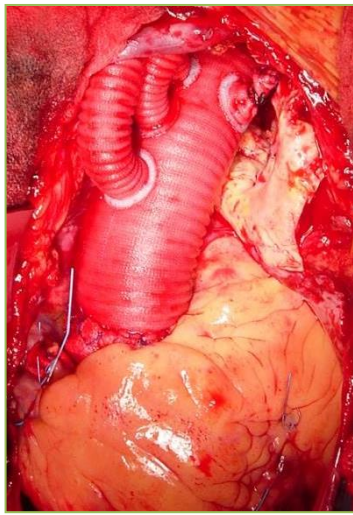
## 治療方法

### 1. 保存的治療

血圧管理、生活習慣改善、ストレス軽減、寒冷刺激の回避などあり、かかりつけ医もしくは循環器専門医の指導に従ってください。

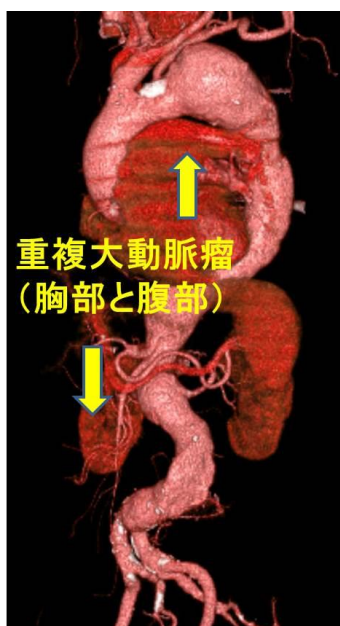
### 2. 人工血管置換術治療

## 弓部大動脈瘤に対する：人工血管置換術



直接動脈瘤を切開して人工血管に置き換える治療です。危険性はある程度あり、一般的に定期手術の全国平均死亡率は腹部大動脈瘤で約1%、胸部大動脈瘤で約5~10%程度です。ただ破裂後は手術に間に合わないことも多く、間に合っても緊急手術の死亡率は数十%あります。

### 3. ステントグラフト内挿術



高齢者の方やたくさんの特病を抱えている方にも負担の少ない治療を提供するために開発された治療です。

足の付け根に数 cm の切開をつけてカテーテルを使って血管内から人工血管を植え込む方法です。直接大動脈を縫う代わりに人工血管にステントが付いておりステントの力で大動脈に固定する方法です。そのため正常な大動脈の曲がりが強かったり大きかったりする部分や、頸部や腹部へ大切な動脈が分岐している部分には、このステントグラフトは困難とされていました。

しかし最近ステントグラフトの改良や重要分枝にバイパスをしてステントグラフトを行う、いわゆるハイブリッド治療が可能となりステントグラフトの適応は拡大しています。

ただしステントグラフト治療の歴史は浅く、長期にわたり安全性が確保されている治療法であるかどうか疑問な側面を持っています。最大の原因は、エンドリークと言ってステントグラフトの端から血液が漏れ、動脈瘤の中に血流が再開通することです。そのため長年にわたり、CT 検査などでエンドリークがないかどうか確認する必要があります。そのことをしっかり考慮に入れて医師と患者がしっかりと相談したうえで治療方針を決める必要があります。

直接生命の危険性のある大動脈瘤であるだけに、しっかり相談し、より快適で安心して生活が送れるよう、われわれと一緒に考えて行きましょう。

## 大動脈瘤 Q&A

**Q:** 動脈瘤が小さくなる薬はありますか

**A:** 残念ながら今のところ小さくする特効薬はございません。やはり血圧管理が最も重要です。

**Q:** 動脈瘤があります。日頃どれくらいの血圧がよいのでしょうか。

**A:** 動脈瘤をお持ちの方の血圧管理は厳重に行う必要があります。高血圧ガイドラインでも高リスクに相当し、血圧は130以下に管理する必要があります。

**Q:** 動脈瘤があります。運動はしてよいのでしょうか。

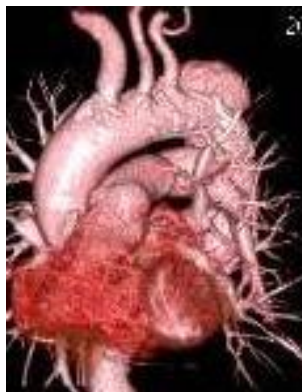
**A:** 主治医の先生から安定している動脈瘤で手術の必要は今のところないと言われている方でしたら、普段通りの運動は全く問題ありません。ただし過度のストレスがかかる運動は控えるべきです。また手術を勧められている方場合はゆっくり歩行する程度の軽度の運動で留めておくことをお勧めします。動脈瘤の部位に痛みを伴う場合や血圧が非常に高い場合は運動を中止し、主治医に相談してください。

**Q**: 動脈瘤の手術をしないと破裂すると言われていたのですが、まったく症状がありません。ほんとうに手術をしないといけませんか？

**A**: 手術を受けるのは患者さん自身です。しかがって手術を受けるかどうかを最終的に決定するのは患者さん自身とそのご家族のかたです。破裂の危険性と手術の危険性を十分に理解されて主治医の先生としっかり相談された後、手術の是非を決めてはいかがでしょうか？

**Q**: 頸部の近くの弓部大動脈に胸部大動脈瘤があるといわれたのですが、持病が多く近くの先生に手術は無理といわれました。ステント治療はできますか？

**A**: まず CT 画像で動脈瘤の性状をみてからの判断になります。写真で破裂の危険性が高い場合は手術を考えます。もし手術が必要と判断した場合、大動脈の性状（瘤と瘤以外の）と持病の程度によってステントグラフト治療の適応を判断します。



術前⇒術後

